

加工食品業界におけるトラック予約システムのメリットについて

資料 4

車両呼び出しの省力化

従来はドライバーを電話、構内放送等で呼び出していたが、システム画面のクリックのみでSMSによる呼び出しが可能となった。

バースの使用状況が可視化され、タブレットでも閲覧できるようになったことで、現場にいなくてもドライバーの呼び出しが可能となった。

システム導入とあわせて物流パートナー企業がバース接車を指示する運用に変更したことで、**初めてのドライバーでもスムーズに荷下ろし**できるようになった。

荷待ち時間の短縮

空きバース情報の提示、入荷時間の事前予約により、**ドライバーの荷待ち時間の短縮**につながった。

待機車両が減ることにより、近隣に迷惑がからなくなった。

データ化・庫内作業の効率化

予め荷物を把握することで、**事前に作業計画を立て、保管スペースを効率化**できるようになった。

荷待ち・荷下ろし時間や車両台数がデータとして見える化され、バース利用の効率化をはじめ**庫内業務全般の改善**に取り組むきっかけとなった。

日々の実績が作業終了後すぐに確認できるようになった。

手書きで管理していた入荷受付をデジタル化することができた。

※日本加工食品卸協会からの聞き取りを基に食品流通課作成